



2013年12月期 第1四半期
業績概要

2013年5月15日

株式会社SmartEbook.com

証券コード:2330

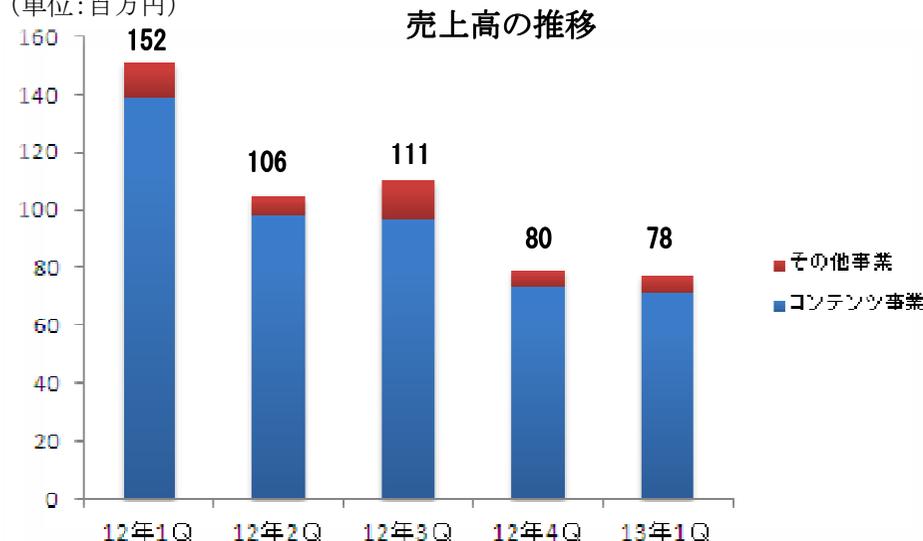
2013年12月期 第1四半期 業績概要

2013年12月期 第1四半期 概況

■損益の状況

| | 2013年1Q (3ヶ月) | | 2012年1Q (3ヶ月) | | 増減率 (%) |
|-------|------------------|------------|------------------|------------|------------|
| | 金額 | 構成比 (%) | 金額 | 構成比 (%) | |
| 売上高 | 78 | 100.0% | 152 | 100.0% | -48.7% |
| 売上総利益 | △ 5 | - | 67 | 44.6% | - |
| 販売管理費 | 251 | 322.6% | 284 | 187.0% | 88.5% |
| 営業利益 | △ 257 | - | △ 216 | - | - |
| 経常利益 | △ 220 | - | △ 171 | - | - |
| 当期利益 | △ 227 | - | △ 172 | - | - |

(単位:百万円)



当第1四半期連結累計期間においては、2012年12月期(前期)から拡大した新規エリアの協業パートナーリレーションとライセンス獲得の強化、各プラットフォーム、ビューワーのローカライズを各地で効率的に行うべく、メキシコ・ブラジル・ベトナム・インドネシアに子会社の設立と営業拠点体制の整備を推進いたしました。

また、遅延していたローカル課金組込開発の完了と新規協業サービスのリリースに専念し、中国セキュリティソフト大手「360」への写真集壁紙配信開始、マルチメディア共有プラットフォーム「Photomate」でのオンラインプリントサービスを開始しました。

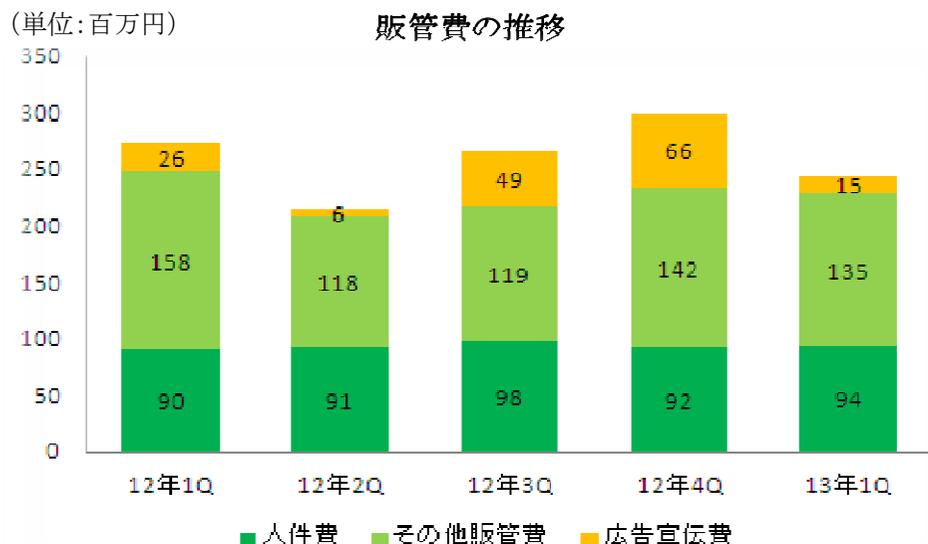
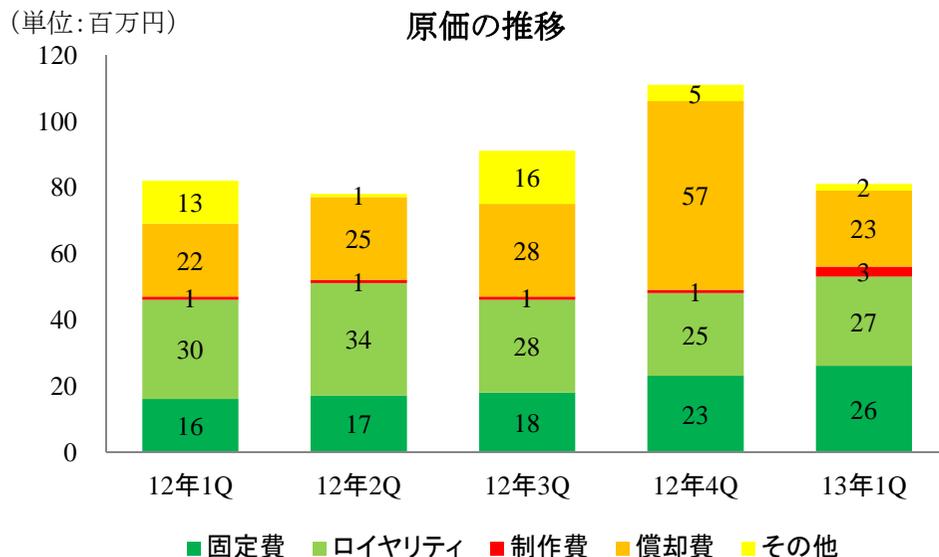
更に、日本では家電通販サイト大手「A-PRICE」、中国ではネット書店最大手の「中国図書網」との協業契約を確保し、遅延していたBtoBtoC協業モデルでのe-booksサービスをリリースさせる準備が完了した事と、今後の収益拡大に向けた基盤整備が完了いたしました。

e-books共有サービス「Book-mate」については、日本・英国に続き、米国での特許を取得いたしました。

売上につきましては概況の通り、遅延していたローカル課金組込開発や新規協業サービスのリリース準備に専念し、幾つかの新サービスを開始いたしました。当該期間においては開始間近である事から大幅な売上貢献には至らずに減収となりました。

但し、自社サービスサイトの「MOBI-BOOK」もリニューアルが完了し、自社ビューワーでの大手出版社コミック及び文芸作品の配信許諾も獲得完了した為、第2四半期以降に残る新サービスのリリースと、それに伴うプロモーション等を積極的に拡大し、売上拡大に努めます。

原価・販管費の内訳と推移



【原価】

固定費については、世界各国で販売チャネルを展開したためのシステム面の運用費が増加したものの、Big Dataによる棚出しの自動化や配信管理データベースの自動登録等による納品から配信までの自動化にて、全体的な運用原価を圧縮する事が出来ました。

また、資産償却費に関しても2013年度末に旧バージョンのビューワーアプリ資産に関する減損処理を行っている為、新規開発は積極的に行っているものの直前四半期からは削減となりました。

【販管費】

2012年度下期に実施したソーシャルリーディングのマーケティングに関しては、ユーザー拡大の成果を実証できた為一旦停止し、広告宣伝費に関しては大幅に圧縮する事が出来ました。

メキシコ・ブラジル・ベトナム・インドネシアの子会社の設立と営業拠点体制の整備に際して、オフィス環境整備費用等のその他販管費が追加発生しましたが、より安価で効率的な設備投資を行った事と、その他全体的なコスト見直しを行った事により、その他販管費も圧縮する事が出来ました。

また、各ローカルエリアでの人員採用と体制整備に関しても、国内本社人員と各ローカル現地人員との組み替え等を効率的に行い、人件費に関しては大幅な増加を抑制いたしました。



SmartEbook.comは
e-booksビジネスに特化し、
『一步一步を、着実に。』歩んで参ります。

—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社SmartEbook.comに属します。